

## 【OIE 情報】香港における低病原性鳥インフルエンザ（H7N9）の発生について

香港における低病原性鳥インフルエンザ（H7N9）の発生について、OIEへ緊急報告がありましたのでお知らせいたします。

出典：OIEウェブサイト（2014年1月28日付け）

[http://www.oie.int/wahis\\_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14705](http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=14705)

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

### 【概要】

- ・発生数：1件（緊急報告）
- ・発生日：2014年1月27日
- ・OIEへの報告日：2014年1月29日
- ・血清型：H7N9（低病原性）
- ・臨床徴候なし
- ・香港で家きんでの初の発生確認（H7N9）

### 【発生状況】

- ・1月27日：香港 長沙湾（ちょうさわん） 興華街4

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
家きん	22,604	2,600	0	22,604	0

- ・2014年1月27日の通常サーベイランスにおいて、輸入委託品の生きた鶏\*について検査を実施したところ、低病原性鳥インフルエンザ（H7N9）が陽性

\* 訳注：他の記述から烏骨鶏と考えられる。

### 【疫学情報】

- ・感染源：合法的な動物の輸入
- ・強化サーベイランスシステムが全ての輸入家きん、野鳥、地域の家きん農場、生鳥市場及び愛玩用の鳥の販売店で実施。
- ・通常のサーベイランスプログラムにおいて、2,600羽の烏骨鶏が入った輸入委託品について検査を実施したところ、低病原性鳥インフルエンザウイルス（H7N9）が陽性。
- ・合計22,604羽の家きん（16,984羽の鶏、2,898羽の烏骨鶏、1,080羽のキジ、1,642羽の鳩）を2014年1月28日に殺処分。
- ・生きた家きんの輸入及び地域の農場の家きんの移動は21日間禁止。

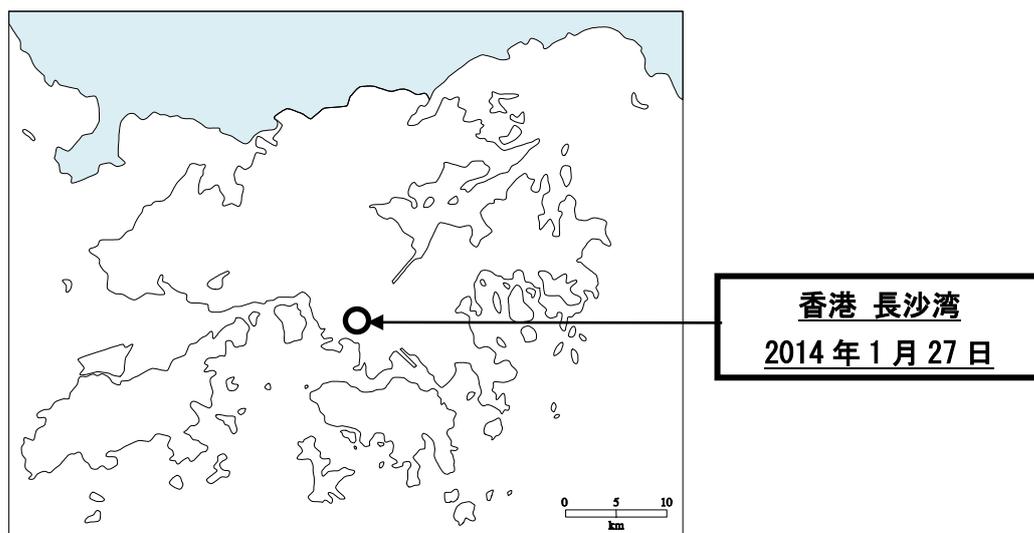
### 【対応】

- ・淘汰
- ・隔離
- ・国内における移動制限
- ・スクリーニング
- ・ゾーニング
- ・施設等の消毒実施
- ・発生に対応したワクチン接種は実施していない
- ・患畜を治療対象としない

【診断】

- ・ 診断施設：香港 漁農自然護理署 Tai Lung 獣医学研究所（国立研究所）
- ・ 診断方法：
  - ・ PCR：陽性（2014年1月27日）
  - ・ ウイルス分離：確認中
- ・ 診断施設：香港大学 李嘉誠医学院 公衆衛生学部 インフルエンザ研究センター（地域のリファレンスラボラトリー）
- ・ 診断方法：
  - ・ 遺伝子配列確認：確認中

参考情報1：香港における低病原性鳥インフルエンザ（H7N9）の発生地図



参考情報2：海外における家きん等での鳥インフルエンザの発生状況に関する情報

（農林水産省動物衛生課にて収集した情報はインターネットで公表しています。）

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori>

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori#aiworld>